





特集
七めちゃんがゆく!
図書館探検記 その3
～蔵書点検～

県立図書館では蔵書点検のため、3月24日(木)から31日(木)まで休館します。この期間中、実際どんな作業を行っているのか、利用者代表の七めちゃんが図書館スタッフのイワオに聞いてみました。

図書館
スタッフ代表
イワオ

図書館の案内などの
お手伝いを主な業務とし、
癒しの存在として
館内のあらゆるところに
そっといる。

Q1 蔵書点検ってなあに?



A1

本が分類どおりに棚に並んでいるか、所蔵資料がなくなっていないかなどを調べる事だよ。
わかりやすくいえば、お店でいう「棚おろし」にあたる作業だね。



Q2 どんなふう点検しているの?



A2

岩手県立図書館ではフロアに並んでいる資料をきれいに整理してバーコードの読取→目録データとのチェック→資料確認→データの更新という流れで点検しているよ。

Q3 閉館するのはどうして?



A3

閉館して一斉にやらないと正しくチェックできないからだよ。でも蔵書点検が終わると、図書館がもっと利用しやすくなるからそれまで楽しみに待ってね。

Q4 去年の写真を見ると、
図書の移動もしているの?



A4

蔵書点検では図書館全体のメンテナンスもするんだよ。棚の大掃除もあるし、1年で一番体力を使う時期なんだよ。



閉館していてもいろいろな事をしているんだね。謎は解けた!!

COLUMN

**三度泣き橋を
ご存知ですか?**

岩手県立図書館 ことばやし ぜこう
総括責任者 **小林是綱**

地元の人知らなくて、転勤族が知っている固有名詞。意外とどこにもあるのかも知れないが、この開運橋の話はいい話だ。

盛岡に勤務を命ぜられた男が、雪降る前の橋の上になつて、岩手山を見ながら「なんでこんなところに……」と泣き、数年が過ぎて、新任地へ向かうとき「どうしてこないいい街から……」と泣く。盛岡の街の人情に涙する転勤族の悲哀が凝縮されているネーミングなのだ。

いま、私は密かにこの橋をテーマに演歌を作っている。転勤族の応援歌つまりは別れの曲だ。二度目の涙を期待して……。

イベント案内

おはなし会	3月	4月	5月
おはなし☆すてーしょん 14:00～(日曜日)	6日	3日	1日
手づくりがみしばい 14:30～(土曜日)	12日	9日	14日
おはなし☆すてーしょん 14:00～(日曜日)	20日	17日	15日
ファミリーおはなし会 14:30～(日曜日)	21日 (月・祝)	24日	22日

企画展 原敬
— 立志の時代とゆかりの人々 —
期間：2月18日(金)～4月17日(日)
会場：4階展示コーナー
原敬が凶刃に倒れてから90年。平民宰相と呼ばれた彼の原点ともいえる盛岡で過ごした幼少年期を中心に、彼を取り巻く人々を、また政治家以外に見せた顔などを、資料とともに紹介しながら足跡をたどります。

映画会	3月	4月	5月
一般 13:30～ (日・月曜日)	13・14日	10・11日 24・25日	8・9日 22・23日
子ども 11:00～ (日曜日)	13日	10日 24日	8日 22日

図書館さんぽ
～コンシェルジュと巡る図書館(館内見学)～
毎月 第1日 曜日 11:30～
第4日 曜日 (30分程度)
参加方法：開催日時に図書館3階
入り口付近にお集まりください。
コンシェルジュと一緒に館内さんぽ♪を
しながら蔵書検索(OPAC)や自動貸出機を
使ってみよう♪

企画展 大槻文彦と辞書の世界
— 『言海』刊行120周年 —
期間：4月29日(金・祝)～6月5日(日)
会場：4階展示コーナー
日本初の本格的国語辞典『言海』刊行120周年にあたる今年、著者である大槻文彦の生涯と大槻家の業績を紹介し、また辞書の歴史等に関する資料もあわせて展示します。

休館日	3月	4月	5月
	3/24～31 (木)	28 (木)	28 31 (土)(火)

おすすめ郷土資料

2010年12月～2011年2月分



ブルーアイス パタゴニアの水河から 生田理和写真集

生田 理和 著 / 山と溪谷社 出版

地球の裏側、南米南端にある風の大地パタゴニア。自然環境の象徴として注目される氷河のブルーが人の心を浄めます。岩手出身の新進写真家・生田理和（みちかず）氏の表現する、日本で初めてのすべて氷河の写真集です。

宮澤賢治と幻の恋人 澤田キヌを追って

澤村 修治 著 / 河出書房新社 出版

女性を忌避したと言われる宮澤賢治ですが、何人かの女性の影が見え隠れします。「冬のスケッチ」などの作品や、友人、教え子の証言などから「恋人」を整理し、新発見の看護婦・澤田キヌとの関係を探り、彼女のその後を追いました。



話す写真 見えないものに向かって

畠山 直哉 著 / 小学館 出版

言葉は写真に追いつくか？ 1997年に第22回木村伊兵衛写真賞受賞以来、様々な受賞歴を持ち、カメラを通して世界と向き合う陸前高田市出身の写真家・畠山直哉氏による講演・講義録11編をまとめたトーク集です。

福田りおの羊毛フェルト基礎テクニック ニードルで作る基本の立体から人気のスイーツまで

福田 りお 著 / 日東書院本社 出版

二戸市出身の福田りお氏が羊毛フェルトの基礎テクニックと立体の作り方を写真・イラストで解説。基本のパンやスイーツ、アップリケ、応用作品の作り方もあります。オリジナルデザインテンプレート付きです。



東条英機内閣の1000日 権力が集中した時代の悲劇

森山 康平 著 / PHP 研究所 出版

総理大臣、陸軍大臣、さらには参謀総長と、強力な権力を持って政治が行われた東条内閣。その成立から1000日にわたる戦争指導の日々を、さまざまなエピソードでたどります。